

新たな基盤整備メニューで補助内容を充実させる考えはないか



(動画時間)
34分



おばら よしおき
小原 仁興 議員

産業振興課長：情報収集の結果、 要望があれば参考にしたい

質問

今年度は、畑の実状を知るための農業農村整備事業調査の予算が計上されました。この調査から基盤整備をすることになった場合、どの程度の時間が必要なのか、そのスケジュールについて確認します。また、それらの基盤整備事業をどの時点で進めるか、判断の指標があれば伺います。

町長

想定される事業実施のスケジュールについては、農業者のニーズを把握する必要があることから、調査事業を実施し、どれくらい生産性が向上するかを農業者にお示ししたうえで、要望調査を実施し、結果に基づく規模などにより、国営、道営、団体営などの事業の活用を想定しています。整備期間は複数年となると想定しています。

また、各事業において、受益戸数、受益面積、負担割合などが異なるので、それらを指標として判断していくこととなります。

再質問

畑周辺の木を伐採するなど整備するような、基盤整備のメニューにない分野に、新メニューとして補助内容の充実を考えていますか。

産業振興課長

調査データ収集の結果そのような要望があった場合、参考にしながら考えてまいります。

文書質問

今号では、令和8年4月に提出のあった質問事項を掲載しています。質問の全文と回答は、町のホームページへアクセスするか、次のQRコードを読み取ることで見ることができます。



あびこ ひろまさ
我孫子 洋昌 議員

【質問の内容】町の各種施策に必要な人材確保に向けた地域おこし協力隊や会計年度任用職員の募集に対して、令和8年度における人材確保状況と、人材が確保できない場合にどのような影響がでるのでしょうか。

- ①福祉医療施設での正職員など
- ②産業振興関連での地域おこし協力隊
- ③「地域共有ビジョン」に関わる地域共有コーディネーター

【回答】①あけぼの園での正職員や会計年度任用職員等の人材確保については、国内全体での人材不足や町内の人口減少等により、困難な状況となっていることから、令和8年度中の外国人材の受入れに向けて具体的な対応を進めています。職員体制の制約と過重負担を回避するため、利用者の安全とケアの質を確保しつつ、入所定員の調整（制限）を行いながら運営しております。

②有害鳥獣捕獲従事者（1名）の確保はできましたが、農産物加工研究所（1名）、特用林産物栽培研究所（1名）、一の橋バイオビレッジ（2名）は、現在募集中です。いずれも正職員が対応しており、支障をきたすことは生じておりませんが、引き続き積極的な募集活動を進めていきます。

③今年度3名の応募があり、選考前に1名は辞退、選考で1名に内定し、住居や仕事について説明を行いました。その後、辞退の連絡がありました。人材が確保できていないことから、うどん祭りなどにおけるボランティア活動や、中学校でのテスト前学習スペース設置などの「居場所づくり事業」に影響が出ておりますが、継続して募集し、地域共有ビジョンの実現に向けて努めていきます。